



今定例会で最も注目されていた問題の1つは、遺伝子組換え稲の屋外実験の問題です。

14日の一般質問では日本共産党議員団の橋爪議員と市民クラブの小関議員（柿崎区選出）がこの問題を取りあげ、市長をきびしく追及しました。

橋爪議員は、「遺伝子組換え技術は未完成の技術であり、健康や環境への影響も未解決なところが多い。また、この上越市は、全国に誇る農都市条例を持ち、有機栽培を中心にした、環

# 簿価の半値以下じゃ損するのは当たり前 土地開発公社問題で杉本議員追及

9日の総務常任委員協議会で、土地開発公社の16年度決算と17年度予算などが報告され、審議されました。

同公社は、旧中央病院跡地をスーパー原信に安く売るなど、その経営のあり方が以前から問題になっていました。報告された決算書では、あらためてその実態が明らかになりました。

全体では、土地を売ったりして48億6741万円の収入がありました。49億5394万円の原価がかかっていて、8653万円の赤字です。谷浜の土取り場の土を、港の埋立用に売った儲けが14億円近くありましたので、これで穴埋めしています。17年度は、1億4500万円ほどの赤字になる予定で、このまま行くと貯金もすくなくなるとい



## 木浦市長、実験強行に遺憾の意を表明

境にやさしい循環型のまちづくりを目指している」とのべたうえで、「市長がセンター側にもっとわかりやすい説明をやってほしいと要請したのに、それもやらないでセンターは屋外での田植えを強行した。これでいいのか」と迫りました。

これに対して木浦市長は、「北陸研究センターの説明責任が十分果たされていない。いかななものかと思っている。たいへん遺憾だ」と答えました。

また橋爪議員は、山形県藤島町や北海道が遺伝子組換え作物の栽培規制の条例を制定していることを紹介し、上越市でも先進事例を学んで検討すべきだと主張しました。市長は、この点でも検討を約束しました。今月下旬にも2回目の田植えを予定している北陸センターの動きが注目されます。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

13 2005年6月19日

連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
 樋口良子 544-6802 (中門前3)  
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)

『なぜ赤字になるのか』が問題です。下の表を見てください。19件の土地を売却していますが、その内、損をして売った土地の売却価格と簿価の比較です。売却先は、いずれも民間です。

杉本議員は、「周辺の地価に合わせなければ売れないのは解かるけど、簿価の半値以下で売ったんじゃないやあ、損するのは当たり前じゃあないですか」と追及しました。答弁は、「二日も早く売却して身軽になりたい」の一点張りでした。

巨額の赤字が予想され、将来、税金など何らかの形で穴埋めすることになります。全ての保有土地の処分計画を明らかにすべきです。その際、まちづくりに必要な土地と不要な遊休土地を区別し、市民や議会の理解を得る必要があります。

16年度決算報告より	売却価格(円)	簿価(円)	差損(円)
高田駅周辺地区整備事業	134,105,706	335,977,866	201,872,160
県立中央病院跡地取得事業	12,421,748	24,349,877	11,928,129
南高田駅周辺地区整備事業	39,424,306	90,813,956	51,389,650

杉本敏宏議員、橋爪法一議員はそれぞれホームページを開設しています。活動日誌も書いています。アドレスは名前で検索できます。